**HTML基本構造**

<!DOCTYPE HTML PUBLIC “">  
  
<html>

<head>  
<meta http-equiv=" " content=" ">  
<title>ウェブページのタイトル</title>  
</head>

<body>  
<h1>ウェブページの見出し</h1>  
<p>ウェブページを作成しました！</p>  
</body>  
  
</html>

1. HTMLとは
   1. HyperText Markup Languageの略で、ウェブページを作成するために開発された言語
2. HTMLの書き方
   1. HTMLのバージョンを宣言する
      1. <!DOCTYPE HTML PUBLIC “">にHTMLのバージョンを宣言する。
   2. HTML文書のヘッダ
      1. <head></head>で囲まれた範囲で、その文書の文字コード・タイトル・作成者など、文書に関する情報を示します。
   3. ボディ部分
      1. <body></body>で囲まれた範囲で、その文書の本体になります。この部分に書かれた内容がブラウザ上に表示されます。

**CSS基本構造**

<head>

<link rel="stylesheet" type="text/css" href="sample.css">

</head>

外部cssから読み込むと上記のようになる。

<head>

<title>Style Sheet Sample</title>

<style TYPE="text/css">

<!-- ここにCSSを指定 -->

</style>

</head>

また、直接HTMLに読み込むと上記のようになる。

1. CSSとは
   1. Cascading Style Sheetの略で、ベージのデザインやレイアウトを定義するもの。様々なモノに色を付けたり、枠を付けたりデザインすることができます。
2. CSSを使うメリット
   1. 自由度の高いデザインが可能になる
   2. 読み込みが早い
   3. 更新しやすくなる
   4. 軽い
3. CSSの基本的定義方法
   1. セレクタ{属性:値}を組み合わせて定義する。